



むさしだい

学校だより7月号
平成28年7月1日
中野区立武蔵台小学校
校長 戸崎 晃

人とかかわる喜び

—「絆づくり」の活動を通して—

副校長 橋本 誠之

5・6年生の移動教室も大成功に終わりました。高学年の子供たちは、様々な体験学習や仲間と寝食を共に過ごす中で、友達との絆を深め、自身の役割を果たすことやルールを守ることの大切さを実感しました。

さて、7月は「交流推進月間」です。武蔵台フェスタやたてわり遊び集会、セーフティ教室や情報モラル教室が予定されています。

本校は、4月からこれまでに代表委員会を中心とした挨拶運動やふれあい月間（いじめ防止月間）の活動を通じて、挨拶をすること、きまりを守ること、人を思いやることに多面的に取り組んできました。

しかし、挨拶することに消極的になってしまったり、きまりを破ってしまったりと、これらが大事なことは分かっているのに、できないことで悩んでいる子供たちもいるのが現状です。

きっと、このような子供たちは自分に自信がもてず、人間関係に不安を感じたり、好ましい人間関係を築くことに勇気がもてなかったりという状況があるのではないかと考えます。

そこで、今年度は異年齢集団で活動するたてわり班活動等の特別活動の一層の充実を図り、体験活動や話し合い活動など人とかかわる機会を昨年度よりも多く設定いたしました。

異年齢集団の中で、お兄さんやお姉さんは、自分よりも年下の子たちをいたわり、

守ります。年下の子たちは、お兄さんやお姉さんに感謝し、その優しさや頼もしさに憧れます。

たてわり班活動における低学年の目標は「集団活動に進んで参加すること」すなわち「人とかかわることを好きになること」です。そうしたかかわりを通して、進んで協力できた、自分から働きかけができた、誰かの役に立つことができたという「集団の一員としての自信や誇りを得ること」が中・高学年の目標となります。

「人とかかわる喜び」は、大人が与えるものではなく、子供たちが人とかかわりの中で自らが獲得していくものです。

昨今、他者とうまくコミュニケーションをとるためのスキルを高めることを求められています。しかし、どんなに話し方を学んでも、「人とかかわりたい」という気持ちにならなければ使い道はありません。

子供たちが学校に登校し、教室にいることは「居場所づくり」にはなりますが「絆づくり」にはなりません。

異年齢集団によるたてわり班活動をはじめ、様々な教育活動を通じて「絆づくり」を進め、「自分の存在価値を感じる」「誰かの役に立てたという成就感」「誰かから必要とされている満足感」を感じ、自分に自信をもち、「人とかかわりたい」という気持ちを育てていきたいと考えております。

保護者や地域の方々におかれましては、子供たちと触れ合う機会がございましたら、挨拶を交わし、時には「しっかりしてきたね。」「立派だったね。」等のお褒めの言葉をいただけると幸いです。



特別支援教育について～一人ひとりの子供たちの笑顔のために～

特別支援教育コーディネーター 横山 佳世

○家庭での生活や学校での生活で、気にかかっていることや困っていることはありませんか？

子供たちにとって、本来学校は楽しい場所です。充実した、楽しい学校生活を通して、心も体も日々成長します。特別支援教育は、児童一人一人が本来もっている力を高め、困難を改善するための支援を行うものです。本校では、校内の特別支援教育を推進するために「校内委員会」を設置しています。今年度から年 10 回、都の心理士等による巡回相談が行われることになりました。都・区の巡回相談員、スクールカウンセラーおよび心の相談員等の外部人材や組織といった多様な立場の方々と連携し、児童の困難の背景や教育的ニーズを多面的に把握しています。教室や家庭での具体的な支援について個別指導計画及び個別の教育支援計画を作成し、保護者の方々と共通理解を図りながらそのお子さんに応じた指導を進めていきます。何かお子さまのことで気になることがありましたら、担任または特別支援教育コーディネーター（田村、横山、秋本）に遠慮なくご連絡ください。



○「特別支援教室」が設置されました。

武蔵台小学校の北校舎 1 階、ランチルームの隣に「特別支援教室」が設置されました。室内には、個別学習のスペースや簡単な運動ができるスペースがあり、静かで落ち着いて学習することができる空間です。

小学校の通常の学級に在籍している発達障害（高機能自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害等）の児童の一部は、在籍学級における授業の一部を抜け、情緒障害等通級指導学級設置校に通級し、指導を受けています。今年度から各校に「特別支援教室」が設置されたことにより、通級指導の担当教員が巡回して指導を行うことができるようになりました。保護者の送迎の負担が減ることで、一人でも多くの児童が在籍校で特別な指導を受けられるようになります。通級指導学級の入級相談に関しても、担任または特別支援教育コーディネーターにご相談ください。

【特別支援教育コーディネーター 横山 佳世】

【7月の主な行事予定】

1	金	音楽朝会（4年生発表） 午前授業	11	月	クラブ活動⑥ 放課後学習教室 6年
4	月	委員会活動④ 放課後学習教室（6年）	12	火	武蔵台フェスタ（2～4校時） 個人面談（1年）
5	火	個人面談（1年）	13	水	午前授業 放課後学習教室（3年） 校内研究授業（2年1組）14:40下校
6	水	午前授業 小教研研究授業 放課後学習教室（3年）	14	木	プラネタリウム見学 4年 個人面談（1年）
7	木	学力向上を図るための調査（5年） 個人面談（1年）	15	金	特別時程 個人面談（1年）
8	金	避難訓練 個人面談（1年）	19	火	音楽朝会（2年発表） 個人面談（1年） セーフティ教室（全学年）
9	土	土曜学校公開 情報モラル講習会（4・5・6年）	20	水	午前授業 給食（終）

6日(水)小教研研究授業にご協力いただく学級の下校時刻について
3年2組(水上学級)、6年2組(田邊学級)は、午後2時45分下校となります。お子様とご確認のほど

19日(月)セーフティ教室について
今年度も野方警察署の方々にご協力いただき、セーフティ教室を実施します。
1～3年生は「不審者から身を守る(危機回避)」、4～6年は「非行防止(健全育成:万引き防止)」

夏季休業期間【7月21日(木)～8月31日(水)】
21日(木)から長期にわたるお休みに入ります。この期間を利用して、水泳指導や個人面談、補充学習などを実施する予定です。各学級担任から、詳細につきましては、お便りでお知らせいたします。どうぞ、よろしくお願いたします。